

先進地に学ぶ 行政視察報告から

産業経済常任委員会

1、期 日／5月24日～26日
2、視察地／北海道函館市・青森県南部町

◎函館市(中心市街地活性化)の取組について

事業の概要

駅前・大門地区は、近年、北東部への人口移動などにより商業・業務核の分散が進行しており、商業集積としての求心力が急速に衰えをみせている。このため、函館市では、平成11年5月「函館市中心市街地活性化基本計画」を策定し、市街地の整備改善と商業等の活性化を一体的に推進している。

△主な取り組み▽

- 株式会社はこだてティーエムオーの設立
- ①チャレンジショップ事業
- ②TMOビルテナントミックス事業
- ③大門横丁(函館ひかりの屋台)テナントミックス事業

◎南部町(町営地方卸売市場)の運営状況について

施設の概要・管理運営の状況

南部町で市場を開設し、町が卸売業者(経営者)となり管理運営している。全国的に見ても類を見ない唯一の特異な市場である。開場は昭和41年3月からで、昭和50年には青森県知事より地方卸売市場として開設許可を受け、本格的な営業が始まった。昭和57年には、近代的なコンピューターによる精算・統計事務が始まり、平成3年には現在の新しい売場が整備、拡張された。そして今や、売上額が40億円を取り扱う青果市場に成長し、名実共に南部地方の大流通拠点として飛躍し、地方経済の発展の一助となっている。



南部町営地方卸売市場

総務財政常任委員会

1、期 日／6月28日～30日
2、視察地／滋賀県栗東市・京都府亀岡市

◎滋賀県栗東市(対話型まちづくり)

「まちづくりの主役は市民」の実現に向けて、市民の声が市により伝わりやすい環境づくりを進めている。

具体的な取り組みとしては、次の5事業である。

- ・市民参画懇話会
- ・市長のこんにちはトーク
- ・まちづくり出前トーク
- ・市長への手紙
- ・パブリックコメント制度

これら5事業のうち、「市民参画懇話会」及び「市長のこんにちはトーク」については、市民との対話を重視する観点から、市長自らが出向き、市民と積極的な意見交換を実施しており、施策や事業に反映している。

◎京都府亀岡市(市税の) 収納率向上について

亀岡市の市税収入は、長引く景気低迷などの影響から、平成9年度をピークに減少している。市税等の収納状況も依然として厳しく、市の財政状況は危機的な状況にあることから、自主財源と市民負担の公平性を確保するため、以前にも増して収納率の向上が強く求められている。

このため、平成13年度に亀岡市市税等収納率向上対策連絡会議を設置し、3月、5月、12月を滞納整理強化月間と定め、期間中は休日や夜間の臨時納付窓口の開設や戸別訪問を強化するなど、全庁を挙げて収入確保と滞納整理に取り

組んでいる。また、完納している納税者との負担の公平性を保つために、給与・預貯金・不動産などの差し押さえや市営住宅の家賃等支払い請求訴訟等を実施している。市税滞納者に対しては、市営住宅の入居や融資など一部の行政サービスの制限を実施し、納税意識の高揚に努めている。

収納率向上対策連絡会議は、助役を委員長とし、15課の課長を委員として構成している。年度当初(6月)の1回目の会議では、それぞれの課長に収納率向上のための目標設定(具体的な数値目標)及び実施計画が課せられる。11月の2回目の会議では、実施計画に対する滞納整理の中間報告が課せられ、当初の目標に至らなかった場合には、その原因の解明と今後の対応が求められる。1月の3回目の会議で年度の取り組み状況の結果が報告され、それぞれの課(長)の目標に対する達成率が報告されている。